

## 【事業実績】

### 1 冊子『三郷の宝』の刊行 全174頁 3,000部印刷

- (1) 冊子の印刷
- (2) 『三郷の宝』執筆者らによる現地調査の実施(主なもの)
  - (ア) 調査者 松田貴子、幅拓哉、斉藤雄太、高山裕司、  
(いずれも『三郷の宝』執筆者)  
調査箇所 三郷スカイライン～冷沢 踏査
  - (イ) 調査者 逸見大悟(安曇野市教育委員会教育部文化課、『三郷の宝』執筆者)  
調査箇所 三郷地域堰及び社寺 巡見
  - (ウ) 調査者 千村裕一(安曇野市教育委員会教育部文化課、『三郷の宝』執筆者)  
調査箇所 三郷地域リンゴ農家 取材



刊行した『三郷の宝』冊子

### 2 中核館及び連携館における展覧会・講座の開催

- (1) 安曇野市文書館企画展「豊科の宝」展(会期 R5年1月15日(土)～3月31日(金))
  - ・昨年度発行した同シリーズの『豊科の宝』をテーマとした企画展を実施。
  - ・豊科ゆかりの人物や考古資料、自然、近代化遺産等について解説展示。
- (2) 豊科郷土博物館主催講座「こたつ講座」
  - (ア) 「日本林業と樹木の研究に尽くした林学博士、白沢保美」(R4年12月24日、参加者19人)  
講師 松田 貴子
    - ・『宝』でも取り上げた植物学者白沢保美に関する紹介
  - (イ) 「黒沢洞合自然公園はじまり物語ー中学生が創った公園の話ー」(R5年2月4日、参加者18人)  
講師 窪田 尚幸(安曇野市教育委員会教育部文化課、『三郷の宝』執筆者)
    - ・『宝』で取り上げた洞合公園の来歴に関する紹介
  - (ウ) 「住吉庄の開発と領主たち」(R5年3月11日、参加者25人)  
講師 逸見 大悟
    - ・三郷地域の中世の歴史に関する講座



こたつ講座の様子

- (3) 三郷公民館各種講座(主なものを抜粋)
  - (ア)「野沢地区めぐり」(令和4年10月2日(日)、参加者24人)  
講師 降旗 政人(外部講師)

・三郷の野沢地区について、現地を巡りながら歴史文化遺産の学習を実施した。

(イ)「務台理作生誕130周年講演会」

(令和4年11月4日(金)、参加者約500人)

講師 曾根原 和孝(外部講師)

・三郷を代表する偉人、務台理作の功績について、中学生を対象とした講演会を実施した。



公民館講座の様子

(4) 貞享義民記念館展示・講座(主なものを抜粋)

(ア)「三郷の記憶－古代から中世－」(令和5年1月14日(土)～令和5年2月12日(日))

・三郷地域の昔の姿を俯瞰する展示を作成し、貞享義民記念館開館30周年の企画展として実施。  
三郷地域から出土した土器や鉄器を展示することにより、三郷の古代から中世にかけての特色をわかりやすく解説した。

(イ)「『靱は死なず』上映会」(令和4年12月17日(土)、参加者68名)

・貞享騒動を描いた演劇作品『靱は死なず』の上映会を実施し、貞享騒動に関する歴史や多田加助をはじめとした人々の姿を改めて見つめ直す機会とした。



貞享義民記念館で開催した「三郷の記憶」展(左)と『靱は死なず』上映会(右)

### 3 学校・社会福祉協議会との連携

(1) 三郷中学校「総合学習(三郷セルフ)」

講師 原 明芳、那須野 雅好、千村 裕一、高山 裕司

(いずれも『三郷の宝』執筆者)

・三郷地域の概要や産業、歴史、自然、等について、講師から話を聞いたりフィールドワークを行う中で、生徒たちが地元について知り、また自分たちで追及していく学習を展開した。



中学生の総合学習における地域の調査

(2) 安曇野市社会福祉協議会 講座

「三郷の宝刊行講座」(R5.3.23(木)、参加者22人)

講師 千村 裕一

・三郷地域の古い道「飛州新道」を切り口に、かつての流通・交易や、戦後の学校の登山行事等について講座を行い、参加した高齢者からも往時を懐かしむ声が多数あった。



社会福祉協議会主催講座